

新たに盛り込んだ視点・ポイント

社会や時代の動きを踏まえた施策の推進

Society5.0の実現(先端技術の進展)や世界的に取り組むSDGs(持続可能な開発目標)の推進など、新たな視点から施策を盛り込みました。

Society5.0や2040年問題への対応

- 県立大学情報セキュリティ産業共同研究センター(仮称)を活用した産業振興
- スマート農林業、水産業の推進など



SDGsの推進

- 女性の活躍推進
- 子どもの貧困対策の総合的な推進
- プラスチックごみ対策の推進など



新型コロナウイルス感染症の影響への対応

- 病床の確保や設備整備、検査体制の充実
- 感染症に関する専門的な人材の育成
- オンライン移住相談会の開催 など



長崎県の近未来像

本県では「まち」の佇まいが大きく変わり、産業構造にも大きな変化が生じ、まさに100年に一度の変化が到来しようとしています。この変化(チェンジ)をチャンスと捉え、県民の皆さんと力を合わせながら、魅力ある長崎県づくりに全力でチャレンジしていきます。夢や希望を持てる近未来像を具体的にお示しします。

「まち」が変わる!

陸・海・空の交通ネットワークの拡充や、IR(特定複合観光施設)の誘致など、大きなプロジェクトが進行しています。

- IR(特定複合観光施設)の整備
- 九州新幹線西九州ルートの開業
- 駅周辺のまちづくりや地域資源の活用など
- 国際クルーズ港の整備など



「産業構造」が変わる!

本県の次なる基幹産業となり得る産業分野に新たな動きが生じており、産業構造に大きな変化が出てきています。

- 海洋エネルギー関連産業
- AI・IoT・ロボット関連産業
- 航空機関連産業
- 半導体関連産業など



特集 長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025 ～つながり、ささえ、つくろう長崎～

県では、長期的な視点で計画的に長崎県づくりを進めていくため、県政運営の指針や考え方を県民の皆さんに分かりやすくお示しする総合計画を策定した上で、さまざまな取り組みを行っています。

このたび、2021年度から2025年度までを計画期間とする新たな総合計画を策定しましたのでご紹介します。

今回の計画の策定にあたって

本県の課題

2040年頃までに人口の減少や少子高齢化、インフラ(道路などの社会基盤)の老朽化、地域コミュニティの衰退などの社会の大きな変化が予測されている「2040年問題」のほか、新型コロナウイルス感染症という新たな課題が県民の健康や生活に大きな影響を及ぼしています。

本県の強み

美しく豊かな自然や多様な歴史・文化をはじめ、多くの強みを有しています。さらに、新幹線の開業やIR(特定複合観光施設)の誘致などさまざまなプロジェクトやまちづくりの事業が進展するとともに、産業構造にも大きな変化が生じるチャンスの時期を迎えています。

- 新しい成長産業の芽(海洋エネルギー、AI・IoT・ロボット、航空機)
- 人材の育成力
- 暮らしやすさ(快適な気候、犯罪率の低さなど)
- アジアとの近接性
- 世界平和に向けた発信力



課題を解決し、難局を乗り越えるとともに、強みを生かし、変化をチャンスと捉え、必要な取り組みを進めていきます。

基本理念 人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県づくり

人が活躍し支えあう



産業が育ち活力を生む



地域がつながり安心が広がる



3 夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る

戦略3-1 人口減少に対応できる持続可能な地域を創る

集落や地域コミュニティの維持・活性化を図る取り組みを行います。また、本県におけるSociety5.0の実現に向け、ICTを活用したサービス提供・活用の推進や地域課題解決、県内産業の育成・強化を進めます。



戦略3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

九州新幹線西九州ルート¹の令和4年秋の開業に向けて、地域の魅力づくりなど、受入体制の構築のための取り組みを行います。観光需要が拡大するアジアに最も近いという強みを生かし、IR区域の整備を目指すとともに、観光客の周遊を促す交通アクセスの強化を図ります。

戦略3-3 安全安心で快適な地域を創る

地域住民、事業者、警察、消防、行政が一体となって、防災・減災対策、地域安全活動、各種犯罪対策、交通安全対策、消費生活の安定・向上、環境保全対策などを推進し、安全・安心で快適な地域づくりに取り組みます。

■成果指標の例

- 持続可能な地域づくりに取り組む地域(団体)数
H30 74団体 → R7 250団体
- 実用化されたICTを活用したサービスや仕組みの数(累計)
R1 0件 → R7 15件
- 刑法犯認知件数(全国トップレベルの治安水準維持)
R1 3,394件 → R7 減少傾向の維持

地域別計画

資源や特性を生かした地域主体の地域づくりを進め、活性化につなげるために、今後の地域づくりの指針として、取り組みの方向性を示す地域別計画を策定しています。

地域区分

「長崎・西彼」「県央」「島原半島」「県北」「五島」「壱岐」「対馬」



©日暮雄一

総合計画の基本的な方向性に沿った各分野の個別計画も策定しています。一緒に長崎の未来を創っていきましょう。

県のウェブサイト

「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」を掲載しています!



問合せ 県の政策企画課 ☎095-895-2034 長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025 検索

政策横断プロジェクト

本県の強みや取り巻く情勢を踏まえた戦略的な取り組みを横断的に展開します。

- ながさき しまの創生プロジェクト
- アジア・国際戦略
- 新幹線開業効果拡大プロジェクト
- 健康長寿日本一プロジェクト
- スマート社会実現プロジェクト
- 人材確保・定着プロジェクト
- 災害から命を守るプロジェクト

基本理念を実現するための3つの柱

基本理念である「人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県づくり」の実現に向け「3つの柱」から施策を展開します。

1 地域で活躍する人材を育て、未来を切り拓く

戦略1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

県民の意識醸成を図り、企業と連携し、働きやすい職場づくりや情報発信に努め、若者の県内就職・定着に取り組みます。



■成果指標の例

- 県内高校生の県内就職率
H30 61.1% → R7 68.0%
- 県内大学生の県内就職率
H30 41.0% → R7 50.0%
- 県・市町の窓口を通した移住者数
H30 1,121人 → R7 3,200人
- 合計特殊出生率
R1 1.66 → R7 1.93

戦略1-2 移住対策の充実、関係人口の幅広い活用を推進する

移住の相談・支援体制の充実や効果的な情報発信などにより、本県へのさらなる移住・定着を促進します。

戦略1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる

結婚から子育てまで一貫した支援、安心して子育てできる環境づくり、ふるさと教育、一人一人の個性や教育ニーズに対応した質の高い教育を推進します。

戦略1-4 みんなで支えあう地域を創る

高齢者をはじめ、きめ細かな対応が必要な方たちへの支援や見守りの充実を図り、働く場の確保など社会参加を促すとともに、県民への人権教育・啓発を推進します。

2 力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

戦略2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる

海洋エネルギー関連、AI・IoT・ロボット関連、航空機関連分野における中核企業の誘致・育成及び高度専門人材の育成などに取り組みます。



■成果指標の例

- 新たな基幹産業3分野の売上高
H30 507億円 → R7 1,210億円
- 観光消費額(総額)
H30 3,778億円 → R7 4,137億円
- 農業・林業産出額
H30 1,574億円 → R7 1,804億円
- 海面漁業産出額
H30 636億円 → R7 660億円

戦略2-2 交流人口を拡大し、海外の活力を取り込む

魅力ある観光まちづくりに取り組む事業者への支援などを通して、観光客の満足度向上を図るとともに、ユニバーサルツーリズム専用窓口の設置など観光客受入体制の構築を進めます。

戦略2-3 環境変化に対応し、一次産業を活性化させる

農林業の生産基盤の強化やスマート農林業の普及拡大、市場との関係強化などにより、農林業者の所得向上を図ります。また、水産資源の維持・増大やスマート水産業の推進など、漁業者の経営力強化に向けて取り組みます。